

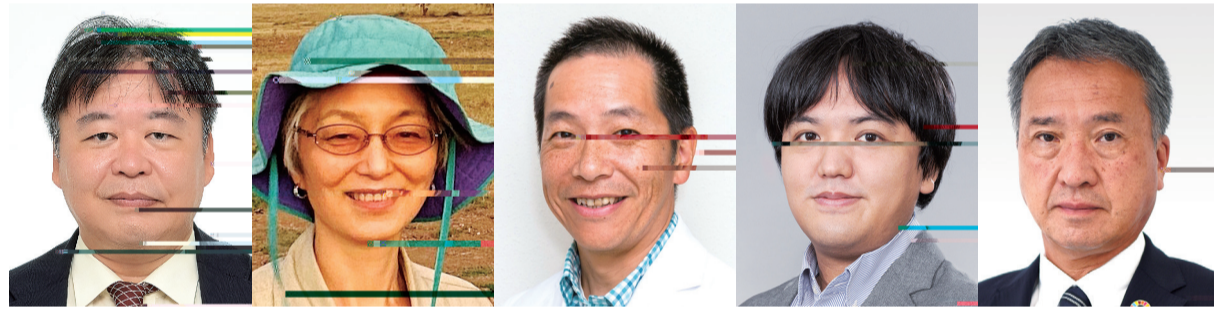


食料の量・質の担保と
生物多様性維持の
両立は可能か？

2024 G7広島サミット & 広島大学75+75周年記念事業 食料安全保障シンポジウム

Food Security Symposium
2023 **4.22** SAT
14:00-16:30
開場 13:30~

- 会場：サタケメモリアルホール (広島大学 東広島キャンパス)
- 対象：どなたでも参加できます。



杉中 淳 北島 薫 吉崎 悟朗 川島 一公 水野 英則

プログラム	開会挨拶	越智 光夫 広島大学長
【司会】 鈴木 由美子 広島大学 理事・副学長 (教育・平和担当)	ビデオメッセージ	岸田 文雄 内閣総理大臣
	基調講演	日本の食料安全保障対策について 杉中 淳 農林水産省 大臣官房総括審議官
	事例報告	<ol style="list-style-type: none"> 生物多様性を維持する持続的な農業 北島 薫 教授(京都大学大学院農学研究科・副研究科長) 熱帯林の生物多様性とグローバルな食料安全保障 生物多様性と質と量を確保する農業技術開発 吉崎 悟朗 教授(東京海洋大学 海洋科学技術研究科) 生殖幹細胞を使って魚を増やす：有用魚の増産と希少種の保全 新たな食料資源の開発 川島 一公 (株)インテグリカルチャー 取締役 環境コストの削減と食糧自給率の向上を実現する細胞性食品(培養肉)の開発 食料安全保障への取り組み 水野 英則 (株)サタケ 常務執行役員 先行技術本部 本部長 / 技術本部 副本部長(兼務) 食の安全・安心と質・量を確保する技術
	広島大学研究紹介	<p>光と熱環境で動物福祉と牛乳生産量を両立させる最新DX酪農技術 杉野 利久 教授(広島大学大学院統合生命科学研究科)</p> <p>海底水自動揚水装置SPALOWによる牡蠣(カキ)増産 小池 一彦 教授(広島大学大学院統合生命科学研究科)</p> <p>世界で広がる塩害問題~耐塩性イネを作る試み~ 上田 晃弘 教授(広島大学大学院統合生命科学研究科)</p>
	パネルディスカッション	MC: 島田 昌之 教授(広島大学大学院統合生命科学研究科)
	閉会の挨拶	菅田 淳 広島大学理事・副学長(研究担当)

事前登録制
参加無料
定員 **500**人